



放射線治療を受けられる方へ

放射線治療とは

放射線は目に見えず、身体にあたっても何も感じません。病気の細胞は放射線にあたると徐々に死滅します。病巣にだけ放射線が当たるようにしますので、身体をほとんど傷つけずに治療することができます。放射線は正常な細胞にも同じ作用をしますが、正常細胞は、病巣よりは障害の程度が軽いいため放射線治療をおこなうことができます。

放射線治療によって皮膚がかゆくなったり、食欲がなくなったり、吐き気などの副作用が出る場合があります。症状には個人差があり、治療終了前後が最もつらい時期で、治療終了後ゆっくりとですが時間とともに改善してきます。



放射線治療の流れ

1 放射線治療計画：CT

- ① 放射線治療の位置を決めるためのCT検査を、地下1階CT室で行います。
- ② 身体に直接、治療に必要な『しるし(治療部位とは限りません)』を付けますのでご了承ください。
- ③ CT後に医師と放射線技師が治療について検討します。



* 頭部や頸部への治療の場合には、CT撮影前にシェルというお面のような専用のプラスチック製の固定具を作成します。マスク作成時に、入れ歯を外していただきます。

* 体幹部の強度変調放射線治療(VMAT)や定位放射線治療の場合には、CT撮影前に患者さんの体型に合わせた固定具を作成します。

2 放射線治療の実際：開始日

- ① 地下1階放射線治療科受付窓口で受付をして待合室でお待ちください。
- ② 順番がきますと看護師がお名前をお呼びします。（治療、看護、ならびに機械の操作上やむをえず順番が変わることがありますがご了承ください。）
- ③ 放射線を照射する部位の衣類は脱いでいただきます。
- ④ 治療台が狭いので、昇り降りに注意してください。
- ⑤ 照射が終わるまでは、体を動かさませんので、まず自分で楽な姿勢をとったのち、その後、技師が決めた位置で動かないでください。
- ⑥ 治療中は誰も同室することができませんが、テレビモニターで技師や看護師がいつも観察しており、会話はできますのでご安心ください。
- ⑦ 照射中は、熱さや痛みは全くありません。



* 週2回、治療前に診察があります。
何か変わったことがありましたら、診察日以外でも平日であれば、診察はさせていただきます。

治療を上手に受けていただくポイント

▶ 治療は自己判断で休まないでください

放射線治療が始まる時、「全部で何回治療予定です」とお伝えします。回数が多ければ、1回や2回くらい休んでも大丈夫と思うのは間違いです。放射線の照射回数と線量は、綿密な治療計画に基づいて計算される数字です。これに変化があれば、当然、治療効果にも影響します。やむを得ない事情で休むときは、必ずお電話下さい。



* 連絡先：06-6771-6051 リニアック室

➤ 身体の『しるし』は消さないでください

マジックでつけた『しるし』に合わせて、毎回の治療が行われるので、マークは消さないようにしてください。

治療中、入浴してもかまいませんが、照射部位を強くこすったり、シャワーを直接かけたり、オイルや石ケンを使ったりしないよう、注意が必要です。

➤ 服装や、食事など日常生活での注意事項

照射部位は、刺激に対して敏感になります。肌触りがよく、吸湿性のよい清潔な肌着を身につけましょう。糊の利きすぎているシャツ、ブラウス類や体を締め付けるような衣類は避けましょう。また照射部位には、湿布や絆創膏などは貼らないようにしましょう。(湿布を貼る位置は相談してください)

食事は栄養のある食事を心がけましょう。お茶やお水、ジュースなど水分をしっかりとるようにします。(飲水制限のある方は指示に従ってください)

そして、十分な睡眠と休息をとるよう、心がけましょう。

● 頭部領域の治療の場合

頭部の治療の場合は、髪の毛を染めたり、パーマをあてるのは控えましょう。頭を洗うときは、弱酸性シャンプーなどを使用し、ぬるま湯で優しく洗いましょう。

● 頭頸部領域の治療の場合

照射部位は、刺激に対して敏感になります。

食事は出来るだけ水分の多い食べ物(おかゆ、おじや、ポタージュスープ等)をとりましょう。おすすめは、牛乳やヨーグルト、バナナ、ハチミツ、豆腐などです。治療中次のものは口の粘膜を傷つけるおそれがあるので控えましょう。お酒、タバコ、辛いもの(カレーやトウガラシなど)固いもの(せんべい、ポテトチップスなど)、熱すぎるものや冷たすぎるもの、酸味の強いもの(梅干、みかん、レモンなど)。

* 口の中の清潔について

- ・ 1日に何回もうがいをして、口の中を清潔にしましょう。
- ・ 歯ブラシは使わず、スポンジブラシなどで歯をきれいにして下さい。
- ・ 入れ歯の人は食事の時以外は、はずすようにしましょう。



*** その他**

- ・ 化粧品は使わないようにしましょう。ひげそりは電気カミソリを軽くあてて使い、直接肌に刃があたるカミソリは使わないようにしましょう。

*** 治療終了後の注意事項**

治療により唾液分泌障害をきたした方は、虫歯になり易いので、食後柔らかめの歯ブラシで歯の手入れを心掛けましょう。また、歯の治療が必要になったときは、まず主治医に相談して下さい。

●胸部領域の治療の場合

食事は消化の良い栄養のあるものを、少しずつよく噛んで食べるようにしましょう。

飲み込みにくいときは、細かくきざんで食べてください。水分の多い食べ物(おかゆやおじやなど)をとりましょう。水分と一緒に食べると食べ物の通りはよくなります。おすすめの食品は、牛乳やヨーグルト、はちみつ、高カロリーな栄養剤などです。酒やタバコ、熱すぎたり冷たすぎるもの、香辛料、酸味の強いもの、辛いもの、固い食べ物(せんべい、ポテトチップなど)は治療中控えましょう。

- * 治療終了後1～3ヶ月経ってから肺炎を起こすことがあります。高熱(38℃以上)が出る、咳が続く、息切れがするといった症状があれば、早めに放射線治療科を受診するようにしましょう。

●腹部領域の治療の場合

食事は水分の多い食べ物をとりましょう。また、腸に刺激の少ないやわらかいお通じを出すために消化のいい食物繊維の少ない食事(豆腐や豆乳などタンパク質が多い食品、温野菜、煮魚はお勧めです)をしましょう。酒やタバコ、コーヒーや紅茶などの刺激物、香辛料、かたい豆類、噛んでも小さくならないタコやイカ、海藻類は避けてください。

●前立腺(強度変調放射線治療VMAT)の治療の場合

いつも同じ条件で治療を受けていただくために、毎日排便し、治療の60分前に排尿後、飲水していただきます。その後は治療が終わるまで尿はためたままでお願いします。条件が同じでないと前立腺の位置がずれてしまい治療の効果に影響します。お通じのコントロールについてはご相談ください。

* 治療開始から治療後1ヶ月の間は、バイクや自転車は刺激になるため控えてください。